

入札状況の常時監視
報告書
(令和6年度)

令和8年1月
名古屋市

目 次

はじめに	1
1 入札状況の常時監視の概要	
(1) 目的	2
(2) 対象	2
(3) 内容	2
(4) 公表	2
(5) 常時監視の流れ	3
(6) 監視体制	3
(7) 公正入札アドバイザー	3
(8) 会議開催実績	4
(9) 結果	4
2 令和6年度における入札状況の概要	
(1) 発注件数・落札金額	5
(2) 平均入札者数・平均落札率	5
●参考（これまでの主な入札制度改善・用語の解説）	7

はじめに

これまで本市では、電子入札の導入、一般競争入札の拡大など談合が行われにくい制度づくりや、談合が行われた際のペナルティ強化などに取り組んできました。しかし、平成 15 年には本市の工事を舞台とした官製談合事件が発生し、平成 18 年以降は全国各地で公共工事を巡る談合事件が相次いで摘発されました。

これらの事件をきっかけとして、さらに「談合行為を見逃さない」という観点を新たに加え、本市が行うすべての工事に係る入札状況について点検するとともに、その情報を市民の皆様と共有することといたしました。その取り組みが、全国で初の試みとして平成 19 年 4 月からスタートした「入札状況の常時監視」です。

この報告書は、令和 6 年度における「入札状況の常時監視」の 1 年分の結果を取りまとめたものです。

今後とも、公正な入札の確保に向けて一層努力してまいります。

令和 8 年 1 月

1 入札状況の常時監視の概要

(1) 目的

- ・ 談合等不正行為の早期発見と抑止
- ・ 監視結果の公表による本市の入札、契約手続の透明性・公正性の向上

(2) 対象

令和6年度に契約を締結した工事の入札

(3) 内容

公正入札アドバイザーの指導・助言を得て、前月分の入札結果を分析し、入札に不自然な状況がないかを監視する。

談合等が疑われるような場合には、本市公正入札調査委員会が、公正入札アドバイザーに指導・助言を求めながら調査を行い、調査結果を公正取引委員会及び愛知県警察へ通報する。

ア 全件分析

すべての工事の入札について、業種ごとに入札者数、落札率等を取りまとめる。

イ 詳細分析

業種・案件を絞り込み、入札状況を詳細に分析する。

(4) 公表

全件分析結果については、毎月本市ウェブサイトで公表する。

(5) 常時監視の流れ

ア 入札結果の集計

前月の入札データをもとに月毎の対象案件を集計する。

イ 全件分析

入札方法別・業種別に平均入札者数や平均落札率について分析を行う。

ウ 詳細分析

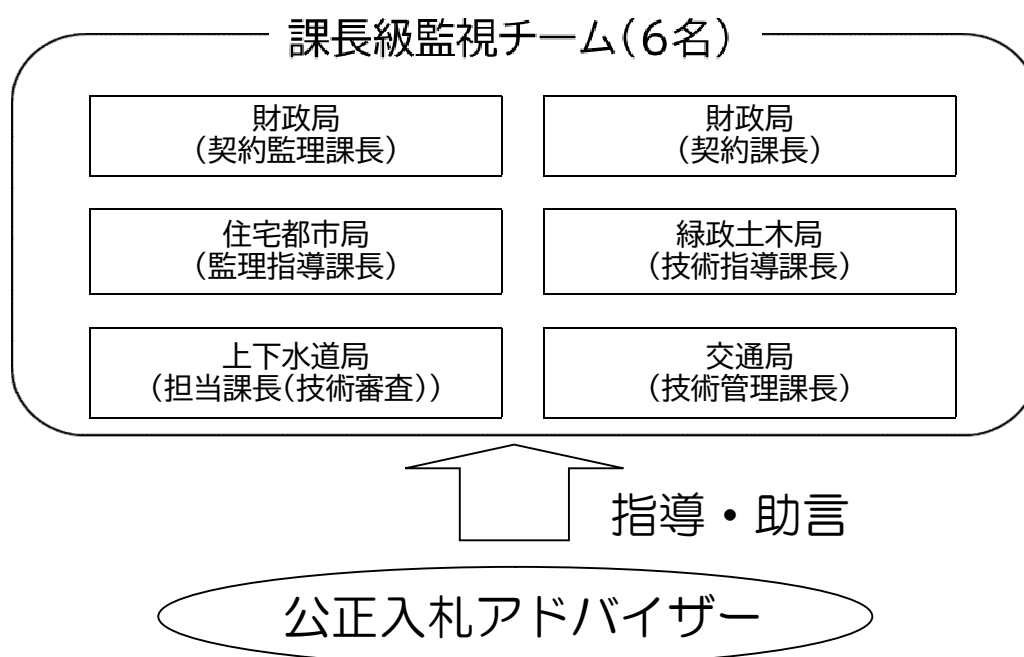
過去に談合情報のあった業種や、落札率の高い案件を中心に抽出し、積算内訳書の確認等の分析を行う。

エ 公表

全件分析結果について、入札月の翌月下旬に本市ウェブサイトで公表する。

(6) 監視体制

財政局と各工事担当局の課長級職員により構成する「監視チーム」が公正入札アドバイザーの指導・助言を得ながら入札状況を監視する。



(7) 公正入札アドバイザー

(令和8年1月現在)

氏名	職業
長谷川 鋤治	弁護士 (元名古屋地方検察庁検事)

(8) 会議開催実績

第 1 回	令和 6 年 5 月 22 日
第 2 回	令和 6 年 6 月 26 日
第 3 回	令和 6 年 7 月 29 日
第 4 回	令和 6 年 8 月 28 日
第 5 回	令和 6 年 10 月 23 日
第 6 回	令和 6 年 11 月 21 日
第 7 回	令和 6 年 12 月 25 日
第 8 回	令和 7 年 1 月 29 日
第 9 回	令和 7 年 3 月 25 日
第 10 回	令和 7 年 4 月 30 日

(9) 結果

ア 全件分析

令和 6 年度及び令和 5 年度の入札結果を比較し、平均入札者数は 0.2 者減、平均落札率は 0.2 ポイント増と大きな増減は見られませんでした。

業種ごとの平均入札者数の比較においては、主に道路標識設置、受変電、区画線設置にて入札者数の増減が見られましたが、不自然な状況は見られませんでした。

イ 詳細分析

(ア) 積算内訳書の確認 (18 件)

入札時に事業者が提出した積算内訳書について、18 件のうち 1 件について不自然な記載が確認されたため公正入札調査委員会へ報告を行いました。公正入札調査委員会が調査したところ、談合の事実は確認できませんでしたが、内訳書作成に関する注意喚起を行いました。

その他の案件については不自然な記載は確認されませんでした。

(イ) 配置可能技術者の確認 (18 件)

総合評価落札方式における入札時に事業者が提出した自己評価加算点申告表に記載されている配置可能技術者について、18 件のうち 3 件に配置出来ない可能性がある技術者の記載がありました。配置出来ない技術者を記入する理由として、確認不足や限られた技術者を同時期の落札案件で既に従事させていること等が考えられますが、当該事業者が落札候補者とはならなかったことから問題はないと判断しました。

2 令和 6 年度における入札状況の概要

令和 6 年度契約分の入札全件について、工事の業種ごとに入札者数・落札率等を取りまとめました。

(1) 発注件数・落札金額（※発注件数は入札不調を除く。以下同じ。）

- 27 業種で合計 2,422 件の発注が行われ、このうち 1,888 件（約 78%）が一般競争入札により行われました。
- 総落札金額（単価契約分を除く。以下同じ。）は約 1,578 億円、このうち約 1,567 億円（約 99%）が一般競争入札により行われました。
- 発注件数は、一般土木（351 件）、管（246 件）、電気（244 件）、舗装（229 件）、機械設備（189 件）の順で多く、この 5 業種で全体の約 5 割を占めました。
- 総落札金額は、建築（約 261 億円）、一般土木（約 241 億円）、下水道（約 233 億円）、管（約 145 億円）、電気（約 128 億円）の順で多く、この 5 業種で全体の約 6 割を占めました。

（資料 1、2）

(2) 平均入札者数・平均落札率

- 一般競争入札の平均入札者数は 8.4 者、平均落札率は 91.9%、指名競争入札の平均入札者数は 4.1 者、平均落札率は 92.6%でした。
- 入札全体では、平均入札者数は 7.5 者、平均落札率は 92.1%となっており、令和 5 年度と比べて平均入札者数は 0.2 者少なく、平均落札率は 0.2 ポイント高くなっています。
- 平均入札者数は、令和 5 年度と同様に、一般競争入札の方が指名競争入札に比べて多い傾向がみられました。一般競争入札と指名競争入札の両方で発注があった 22 業種のうち、一般競争入札の方が指名競争入札に比べ平均入札者数が少なかった業種は「特殊電気」「計装設備」の 2 業種でした。
- 平均落札率は、令和 5 年度と同様に、一般競争入札の方が指名競

争入札に比べて低くなっています。一般競争入札と指名競争入札の両方で発注があった 22 業種のうち、一般競争入札の方が指名競争入札に比べ平均落札率が高かった業種は、「一般土木」「建築」「道路標識設置」「解体」「特殊電気」「舗装」「塗装」「水・汚泥処理設備」「造園」の 9 業種であり、その差は 0.1～3.5%でした。

(資料 1、2)

- 発注金額階層別（予定価格で算出。単価契約を除く。）の平均落札率を見ると、500 万円未満や 5 億円以上の発注金額階層別の工事においては、他の発注金額階層別工事の平均落札率に比べやや高い傾向が見られました。

(資料 3)

- 入札者数別で見ると、入札全体では令和 5 年度と同様に、概ね入札者数が多くなるほど平均落札率が低くなる傾向が見られました。

(資料 4)

●参考

（これまでの主な入札制度改善）

一般競争入札の拡大

本市では、競争性等の向上のため、一般競争入札を拡大してきました。

平成 8 年 4 月	予定価格 21 億 6,000 万円以上（政府調達協定適用（当時））の工事について一般競争入札を実施
平成 15 年 10 月	予定価格 6 億円以上の工事に拡大
平成 18 年 4 月	予定価格 5,000 万円以上の工事に拡大
平成 20 年 4 月	予定価格 1,000 万円以上の工事に拡大

予定価格の事前公表

本市では、透明性を向上させるため、次のように予定価格の事前公表の実施を拡大してきました。

平成 16 年 7 月	工事の全ての入札について実施
平成 18 年 4 月	測量・設計等の全ての入札について実施

電子入札の導入

本市では、競争性等の向上のため、電子入札の導入を進めてきました。

平成 16 年 7 月	調達情報サービスシステム（発注見通しや入札予定等をインターネットで提供するシステム）の運用開始
平成 16 年 11 月	入札参加者登録システム（競争入札参加申請をインターネットで受け付けるシステム）の運用開始
平成 17 年 9 月	電子入札システム（インターネットを利用して入札を実施するシステム）の運用開始
平成 18 年 6 月	全ての入札を対象に電子入札の実施

(用語の解説)

一般競争入札

入札参加資格要件を満たす事業者であれば入札に参加することが可能であり、競争性・公正性が高い入札方式ですが、指名競争入札に比べて入札手続に時間を必要とします。

指名競争入札

市が適正な能力がある事業者をあらかじめ選定して競争させる入札方式で、一般競争入札に比べて効率的に入札手続を進めることができます。

※本市における工事の指名者数は、原則として5者以上となります。

総価契約

総額を請負金額とする契約を指します。

単価契約

作業や資材の1単位あたりの単価で契約し、出来高に応じて代金を支払う契約を指します。

平均落札率

全件分析などに掲載されている平均落札率は、単純平均で示しています。また、本市では低価格入札への対応として、最低制限価格制度及び低入札価格調査制度を導入しており、一定の価格を下回る入札をした入札者は落札者となることができません。

(例) A業種3件の平均落札率の算出方法

※3件の落札率(注1)がそれぞれ70%、80%、90%だった場合。

※それぞれの予定価格及び落札金額の大小は考慮していません。

$$\frac{70+80+90}{3}$$

(注1) 落札率…予定価格(注2)に対する落札金額の割合(パーセント)のことです。

$$\text{落札率} = \frac{\text{落札金額}}{\text{予定価格}} \times 100 (\%)$$

(注2) 予定価格…契約を締結するにあたって材料費や労務費などを考慮して積算し設定する上限価格です。

工事請負全件の入札状況(令和6年度)

業種	件数	平均入札者数	平均落札率
一般土木	351	6.1	90.3%
下水道	160	11.1	90.5%
軌道	9	1.0	99.6%
水道	15	3.3	93.8%
配水管布設	169	13.0	90.2%
建築	167	2.8	93.5%
とび・土工・コンクリート	42	8.8	89.7%
道路標識設置	19	15.4	88.7%
解体	7	10.3	90.5%
電気	244	4.7	94.0%
屋外照明	77	14.2	91.1%
特殊電気	18	1.4	97.7%
受変電	38	3.6	96.1%
管	246	15.2	91.8%
鋼構造物	4	2.8	92.3%
舗装	229	8.9	90.1%
しゅんせつ	1	1.0	95.7%
塗装	41	7.0	88.6%
区画線設置	36	17.1	91.3%
内装仕上	3	1.7	98.4%
機械設備	189	1.6	96.0%
水・汚泥処理設備	86	2.0	94.9%
計装設備	40	1.1	97.6%
電気通信	34	2.5	95.2%
造園	184	5.5	90.3%
建具	3	3.3	93.8%
消防施設	10	4.5	92.7%
合計	2,422	7.5	92.1%
前年度(合計)	2,416	7.7	91.9%

工事請負全件の入札状況(詳細)(令和6年度)

業種 入札方式	一般競争入札				指名競争入札				入札合計			
	件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額総額 (千円) (税抜き)	件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額総額 (千円) (税抜き)	件数 (件)	平均 入札者数 (者)	平均 落札率	落札金額総額 (千円) (税抜き)
一般土木	237	6.4	91.1%	24,076,847	114	5.5	88.8%	27,555	351	6.1	90.3%	24,104,402
下水道	158	11.1	90.5%	23,317,230	2	7.0	94.2%	10,150	160	11.1	90.5%	23,327,380
軌道	9	1.0	99.6%	603,634					9	1.0	99.6%	603,634
水道	14	3.4	93.5%	3,580,450	1	1.0	98.7%	1,620	15	3.3	93.8%	3,582,070
配水管布設	168	13.1	90.2%	8,811,224	1	1.0	98.8%	3,390	169	13.0	90.2%	8,814,614
建築	131	2.9	93.7%	25,845,760	36	2.2	92.9%	216,309	167	2.8	93.5%	26,062,069
とび・土工・コンクリート	39	9.2	89.4%	1,919,003	3	3.3	94.1%	10,078	42	8.8	89.7%	1,929,081
道路標識設置	18	15.8	88.7%	143,626	1	8.0	88.5%	4,689	19	15.4	88.7%	148,315
解体	6	11.3	90.5%	251,304	1	4.0	90.4%	1,954	7	10.3	90.5%	253,258
電気	195	5.5	93.1%	12,570,302	49	1.4	97.7%	210,800	244	4.7	94.0%	12,781,103
屋外照明	32	22.8	86.9%	405,396	45	8.0	94.0%	0	77	14.2	91.1%	405,396
特殊電気	14	1.2	98.5%	130,170	4	2.3	95.0%	15,580	18	1.4	97.7%	145,750
受変電	30	4.2	95.0%	3,928,119	8	1.1	99.9%	35,204	38	3.6	96.1%	3,963,323
管	201	17.9	91.7%	14,389,058	45	3.5	92.5%	109,051	246	15.2	91.8%	14,498,109
鋼構造物	4	2.8	92.3%	401,671					4	2.8	92.3%	401,671
舗装	183	9.2	90.6%	6,547,117	46	7.7	88.2%	54,590	229	8.9	90.1%	6,601,706
しゅんせつ	1	1.0	95.7%	245,000					1	1.0	95.7%	245,000
塗装	40	7.1	88.6%	1,882,024	1	3.0	86.7%	3,377	41	7.0	88.6%	1,885,401
区画線設置	36	17.1	91.3%	478,000					36	17.1	91.3%	478,000
防水												
内装仕上	3	1.7	98.4%	4,423,420					3	1.7	98.4%	4,423,420
畳												
機械設備	140	1.7	95.6%	8,358,334	49	1.3	97.1%	207,370	189	1.6	96.0%	8,565,704
水・汚泥処理設備	55	2.0	95.2%	5,873,277	31	1.9	94.3%	135,438	86	2.0	94.9%	6,008,715
計装設備	24	1.0	96.9%	1,066,632	16	1.1	98.7%	49,278	40	1.1	97.6%	1,115,910
電気通信	27	2.8	94.7%	2,215,771	7	1.4	97.3%	22,604	34	2.5	95.2%	2,238,375
造園	116	5.8	90.4%	4,205,323	68	4.9	90.3%	2,600	184	5.5	90.3%	4,207,923
さく井												
建具	1	4.0	91.5%	7,495	2	3.0	94.9%	9,464	3	3.3	93.8%	16,959
消防施設	6	6.0	92.4%	1,007,980	4	2.3	93.2%	12,959	10	4.5	92.7%	1,020,939
清掃施設												
合計	1,888	8.4	91.9%	156,684,165	534	4.1	92.6%	1,144,060	2,422	7.5	92.1%	157,828,225
前年度(合計)	1,869	8.8	91.7%	137,402,012	547	4.3	92.5%	1,221,267	2,416	7.7	91.9%	138,623,279

※落札金額は、単価契約(一般競争入札53件、指名競争入札283件)を除く。

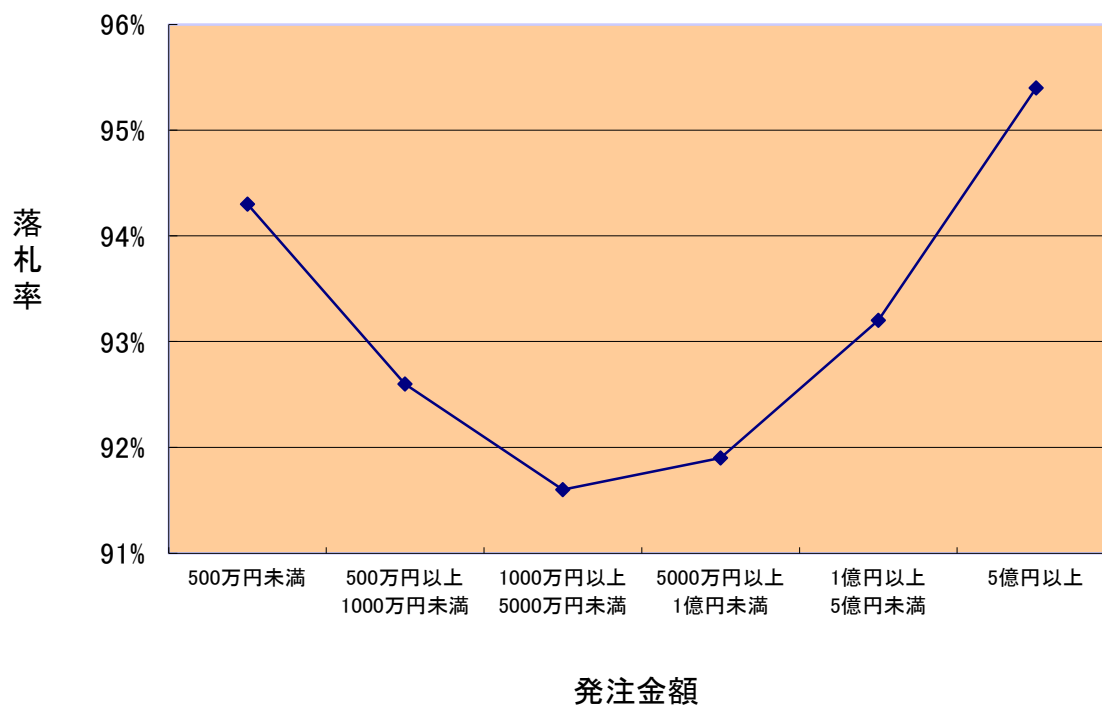
※金額はそれぞれ四捨五入によっているため、合計が合わない場合がある。

発注金額階層別入札状況（令和6年度）

発注金額	落札金額総額(千円)	構成比	平均落札率	(参考)件数
500万円未満	684,731	0.4%	94.3%	231
500万円以上	1,922,458	1.2%	92.6%	283
1000万円以上	20,457,096	13.0%	91.6%	870
5000万円以上	23,540,293	14.9%	91.9%	363
1億円以上	56,838,980	36.0%	93.2%	294
5億円以上	54,384,668	34.5%	95.4%	45
合計	157,828,225	100%	92.4%	2,086

※単価契約を除く。発注金額、落札金額は税抜き。

※金額はそれぞれ四捨五入によっているため、合計が合わない場合がある。



入札者数別入札状況（令和6年度）

入札方式 入札者数	一般競争入札		指名競争入札		合計	
	件数(件)	平均落札率	件数(件)	平均落札率	件数(件)	平均落札率
1者	415	97.3%	140	97.5%	555	97.4%
2～3者	342	92.6%	82	93.5%	424	92.8%
4～6者	300	90.2%	26	91.5%	326	90.3%
7～9者	192	89.2%	3	90.4%	195	89.2%
10者以上	586	89.6%	0	—	586	89.6%
合計	1,835	92.0%	251	95.5%	2,086	92.4%

※単価契約を除く。

